

地域・民間企業・行政が 役割を分かち合う時代へ

そこに暮らす人々にとって豊かなまちとなるように、
地域・民間企業・行政が協力し合い、さまざまな新
しい取り組みが始まってきています。

力強いまちは 皆さんと ともに

地域住民などによる取り組み

地域に根付いた力で、より市民のニーズに応じたサービスが実現！

通学路などの見守り活動

住民の力で地域を安全に！

札幌地域自主防犯パトロール隊

地域の町内会を中心に、登下校時の子供たちの見守りや、青色回転灯をつけたパトロール車による巡回を行う活動。学校、町内会で不審者情報を共有し、子供たちを守ろうと平成16年に活動が始まりました。まちづくりセンターを拠点にした情報ネットワークをつくり、今や隊員数は700人にも及んでいます。

札幌地域の皆さんは、玄関に防犯ステッカーを張ったり、外出時にパトロールの腕章を着けたりと防犯意識が高いですね。不審者情報をまちセンに送ると、すぐに隊員たちがパトロールを強化してくれて、非常に助かります。

札幌小学校
山田 貢嗣 教頭



区役所から提供された腕章を着け、子供たちの見守りをするパトロール隊

市ではスクールガード制度を導入！

こうした活動を広めようと、市は、登録した地域住民（スクールガード）が登下校時の子供を見守る制度を、昨年11月に導入。対象は市立の小学校、幼稚園などで、元警察官のリーダーとも巡回を行い、よりの確な見回りを目指しています。

[詳細] 教育委員会管理課 ☎211-3831

冬期間の砂まき活動

地域のツルツル路面对策はわたしたちが行う！

西区山の手南小学校 砂まきサポーター

PTAの皆さんが中心となり、子供たちの転倒を防ぐため、地域内のツルツル路面に砂をまく活動。子供が滑って交通事故に遭いそうになったことから、平成15年に始まりました。除雪センターが学校に配布した砂を、サポーターが気付いたときにまきます。雪解け後には、砂の清掃活動も一斉に行います。



砂がまかれた路面を、元気に歩いて学校に向かう子供たち

学校のほか、飲食店の前などにも砂を置き、地域の人が気軽に砂を入手できる工夫も。みんなが、滑るなと思ったところに砂をまくだけで十分！お年寄りの転倒事故もずいぶん減りましたね。

山の手南
小学校
PTAの皆さん



民間企業による砂箱設置も！

都心部周辺では、民間企業の寄贈による砂箱も設置。砂は随時、除雪センターが補給しています。

[詳細] 雪対策室計画課 ☎211-2682

